

大震災で親を失った  
子どもたちのために

# 子どもと家庭を支える ネットワークと連携を めざして

2012年

3月24日(土) 13:00▶16:30

宮城県行政庁舎2階 講堂

参加費：無料

託児あり 申込(裏面)

仙台市青葉区本町三丁目8-1

第I部 13:00～15:30

講演1 「大震災と子どもの心のケア」

講師：本間 博彰 (宮城県子ども総合センター所長・児童精神科医)

3.11震災直後から、宮城県内4地域の診療室を拠点として、子どもの心のケアに取り組む立場から、子どもたちの現状と今後の課題について。

講演2 「わが国の社会的養護の課題と将来像」

講師：柏女 霊峰  
(淑徳大学教授・厚生労働省社会保障審議会社会的養護専門委員会委員長)

わが国の社会的養護改革をリードしてきた立場から、最近の社会的養護に関する動向と、今後10年間を見据えた将来像を。

報告 「親族里親とともにすすめる親を失った子どもへの支援」

講師：卜蔵 康行  
(宮城県里親連合会会長・日本ファミリーホーム協議会会長)

1986年から里親として多くの子どもたちを育て、震災後、宮城県里親連合会会長として、宮城県とともに「親族里親支援」をはじめた立場から、その取り組みを中心に。

第II部 15:30～16:30

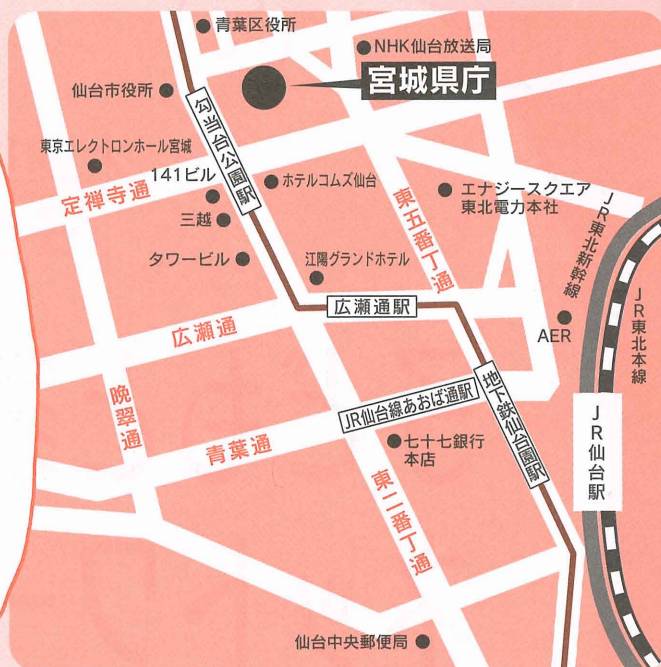
トークセッション (本間博彰×柏女霊峰×卜蔵康行×藤林武史 福岡市子ども総合相談センター所長 児童精神科医)

交流会 17:30～ [交流会参加費：3,000円]

# 子どもと家庭を支えるネットワークと連携をめざして

## フォーラムの趣旨

東日本大震災によって多くの子どもたちが被害を受けました。東北3県で1500名以上の子どもが親を失いました。このうち、両親を失った子どもは240名に上り、そのほとんどは、現在、親族のもとで育てられています。この子どもたちが、今後さまざまな困難をのりこえて成長していくためには、養育家庭を含めて長期にわたる支援が必要です。このフォーラムでは、被災した子どもたちの現状をふまえ、わが国で始まった社会的養護の大きな政策転換のなかで、すべての子どもが安心して育っていくよう、子どもと家庭を支える活動のあり方について、参加者とともに考えたいと思います。



【徒歩】 仙台駅西口→(約2キロメートル・約20分)→県庁  
 【バス】 「仙台駅前」→(約5分)→「県庁市役所前」下車→(徒歩約3分)→県庁  
 【地下鉄】 「仙台」駅→(約4分)→「勾当台公園」駅(北2番出口)→(徒歩約3分)→県庁



**SOS CHILDREN'S VILLAGES JAPAN**

子どもの村福岡

検索

## 子どもの村福岡について

国際NGO「SOS子どもの村」の133番目の国として、2010年4月日本で初めて福岡に開村。さまざまな事情で家族と暮らせない子どもたちのために「新しい家庭」をつくり、地域とともに育てています。家庭的養育と専門的サポート、市民・企業の支援が特徴の、新しい社会的養護のモデルづくりを目指します。2011年11月、「東北・SOS子どもの村情報センター」を仙台市に開設。宮城県や宮城県里親連合会などと連携して、大震災により親を失った子どもとその養育家庭を支援する活動を行っていきます。

## お申込み

FAX: 022-748-6931

ふりがな			所属	
氏名				
住所	〒			
連絡先	TEL	FAX		
託児	希望します	子ども名	希望しません	
	お名前	(男・女) 才	お名前	(男・女) 才
	お名前	(男・女) 才	お名前	(男・女) 才
交流会	参加します	参加しません		

お問合せ先

**東北・SOS子どもの村情報センター** 〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目7-30 角川ビル412号  
 Tel. 022-748-6936 Fax. 022-748-6931 E-mail. cvtinfo@cv-f.org

**特定非営利活動法人 子どもの村福岡** 〒810-0054 福岡市中央区今川2丁目14-3 サンビル3F  
 Tel. 092-737-8655 Fax. 092-737-8665 E-mail. fukuoka@cv-f.org